

超神ネイガー誕生
ご当地ヒーローの原点

に かほ市が平成17年10月に誕生しました。そして、昨年10周年を迎え盛大に記念式典と記念行事を開催したことは、記憶に新しいところです。実は、にかほ市が誕生するよりも前に「超神ネイガー」が誕生していたことを皆さんご存じでしたでしょうか。

平成17年6月、金浦でスポーツジムの営む海老名保さん（造形担当）と高橋大さん（設定・SNS管理）。そして才能あふれる仲間たちによって、秋田初ご当地ヒーロー超神ネイガーが誕生しました。秋田の名産品・特産品を武器に秋田弁をうまく使い「だじゃく組合」のホジナシと戦うという奇想天外な発想が共感呼び、テレビや雑誌に取り上げられ瞬く間に一大ムーブメントを巻き起こしました。その勢いは秋田に留まることなく、今やその数300以上ともいわれる全国のご当地ヒーローに多くの影響を与えました。つまり、にかほ市が超神ネイガー誕生の地であり、全国ご当地ヒーロー発祥の地でもあるのです。

水 木一郎。言わずと知れたアニメソング界の帝王。ネイガーの名をさらに有名にした出来事と言えばテーマソングを水木一郎さんが歌ってくれたことではないでしょうか。どうして水木さんが話したのは実に単純で、たまたま用事があり秋田に来ていた音楽製作会社の社員がネイガーの活躍を知り非常に感銘を受けたそうです。そして活動の力になりたいと考えていた矢先、これもたまたま東京で会った水木さんにテーマソングをお願いしたらなんと、二つ返事で「よし！歌おう」と。水木さんサイドからすれば「超神ネイガーは世界観がちゃんと定まっていってホームページによる情報発信や管理運営がしっかりしている」と、将来性を強く感じたそうです。こうして「帝王」がテーマソングを歌ってくれたことで、ネイガー人気は更に加速していきます。



公共の場での活躍
市民に身近なヒーローたち

秋 田県の平和を守るため、農業を営むアキタ・ケンが仲間のアラゲ丸やジオンと共に秋田県をダメにしようともくろむ悪の組織「だじゃく組合」と戦う、これがネイガーの基本コンセプトです。しかし、ネイガーたちの活躍の場は時代と共に変化し、特に最近では公共の場への進出も多く、街なかで何気にネイガーたちを見かけることも増えました。それでは昨年の活躍をいくつか紹介していきます。

■**児童の安全はオラが守る！**
 新しい生活に心はずませる新1年生たちが登校するなか、ネイガーはにかほ警察署や防犯団体と協力し朝の挨拶運動を行いました。そして、児童のランドセルカバーにはネイガーのイラストが印字。児童たちを温かく見守ってくれています。

■**不法投棄はごしゃぐど！**
 市内の衛生環境を良好に維持することにも一役かっています。不法投棄監視員に委嘱されたネイガーたち。写真付きで「なげればごしゃぐど！」と書かれた警告看板が常に目を光らせています。

■**いつでも気軽に呼んでくれ！**
 飛び入りでの登場にも快く対応してくれました。7月、にかほ市に研修ツアーで訪れたワタミの社員が地引き網体験をするなか、突如ネイガーとアラゲ丸が登場。力強く網を引きアラゲ丸は漁師の腕っ節を見せつけました。

このように秋田の平和を守るヒーローでありながらも、時には市民にとって身近な存在でありたいと願い積極的に公共の場へ登場しています。そんなネイガーたちがいるにかほ市は、まさに「ヒーローがいる街」ではないでしょうか。



超神ネイガー 10th Anniversary

はじめに
泣 泣く子はいねえがくは誰もが知っている秋田を代表する名物の一つ男鹿のなまはげの決め台詞です。そして、今から10年余り前、このなまはげと「いねえがく」の決め台詞をモチーフに誕生したのが秋田県が誇るご当地ヒーロー「超神ネイガー」です。

今や全国各地いたるところにその地域の特色を盛り込み、観光PRや地域活性化を目的とするキャラクターとして存在するご当地ヒーロー。その先駆者と言っても過言ではないネイガーも、昨年にはかほ市より一足早く10周年を迎えています。

本号では、国の地方創生政策が地方衰退に歯止めを掛ける重要施策として注目を集める今、にかほ市はもとより秋田県の地方活性化の起爆剤として誕生したネイガーを特集します。

今やにかほ市ふるさと宣伝大使のネイガーも10周年を迎え、市民により身近な存在となったヒーローの日常にスポットをあてながら、公共の場における活躍などを紹介します。